

登録コード	HM109200	開講年度	2026					
授業題目	移植免疫学特論					担当教員	山条 秀樹 他	
英文授業名	Transplantation Immunology					副担当		
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生		
講義室				授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野初，2025HM医学分野初，2024HM医学分野初，2023HM医学分野初							
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能					⇔	臓器・細胞移植に伴う免疫現象に関する知識を深め、これを説明できる。	
(2)詳細 /Detailed information	移植免疫のメカニズムを理解するとともに、最新の情報に触れる。							
(3)授業の概要 /Overview of course	臓器および細胞移植に伴うレシピエントの免疫応答について、そのメカニズムを概説する。その上で、現在用いられている、もしくは今後用いられる可能性のある様々な免疫制御法について、最新の研究、文献情報をもとに自ら調査し、紹介、討論する。							
(4)授業計画 /Course plan	第1回移植免疫概論 第2回造血幹細胞移植について 第3回移植免疫に関わる細胞について 第4回免疫抑制剤について 第5回移植片拒絶反応に関する文献調査 第6回移植片拒絶反応に関する文献紹介その1 第7回移植片拒絶反応に関する文献紹介その2 第8回移植片拒絶反応に関する文献について討論 第9回移植免疫制御法に関する文献調査 第10回移植免疫制御法に関する文献紹介その1 第11回移植免疫制御法に関する文献紹介その2 第12回移植免疫制御法に関する文献について討論 第13回臓器移植・再生医学に関する最新の話題について文献紹介その1 第14回臓器移植・再生医学に関する最新の話題について文献紹介その2 第15回総合討論							
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	文献調査の方法の理解20点、文献紹介の的確さ30点、内容の理解度30点、討論における積極性＋質問に対する応答の妥当性20点、合計点が60点を超えていれば合格。その上で、自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。以上の4項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。3項目までできていれば「やや上にある（良）」。2項目までできていれば「水準にある（可）」。							
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	初回到討論した方法で自ら各回のテーマに適合する文献を熟読し、授業に備えること。また、各回の文献紹介の終了後には論点を整理し各セクションの討論に向けて準備をすること。							
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	担当教員が随時質問を受ける。メール、直接訪問いずれも可。							
(8)授業の形式 /Course format	受講者によるトピックスの紹介と教員との討議、教員による質疑への口頭での回答。							